

2023年度 第4回 理事会議事録

掛川電気工業協同組合



1. 招集年月日 2023年9月22日
2. 開催日時及び場所 2023年11月17日 理事会 16:10～16:50
掛川電気会館 2F 会議室
3. 理事の数及び出席理事の数
理事 6名 出席理事 6名
4. 出席理事の氏名
(理事長) 鈴木基文 (副理事長) 阿形正好
(理事) 榛葉一仁、鶴田昌伸、木村正勝、仲村文宏
5. 出席監事の氏名
無し
6. その他の出席者氏名
事務長 水野智義
7. 議長の氏名
鈴木基文
8. 議決事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
なし
9. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果

■ 全ての議案は出席理事の全員多数決議により、議決及び原案通りに可決承認された。

定款の規程により理事長が挨拶の後、理事長鈴木基文が議長席について開会する旨を述べて議事に入った。
議長は、先ず、事務長に会議の進行を委任した。
これにより、事務長は事前資料レジユメに沿って会議の開始をした。

■ 議題審議

第1号議案: 代表者変更の事業所について(報告)

下記の2事業所が標題の代表者変更届けがありましたので、ご承知おき願います(敬称 略)

- 掛川ブロックの榊川北電気…(前代表者)木俣正行→(新代表者)前沢清美
- 袋井ブロックの榊大王…(前代表者)大槌安太郎→(新代表者)大槌貴紀

第2号議案: 脱退予告の事業所について(報告)

下記の4事業所が、新たに今年度末2023年3月31日付にて、自己都合で脱退される予定です(敬称 略)
組合事務局は受理しましたので、ご承認をお願い致します。

- 掛川ブロックの共栄電気工業所(石山朝明)
- 袋井ブロックの竹下電気工事社(竹下雄司)
- 袋井ブロックの弘和電業(鈴木康弘)
- 磐田ブロックの(有)草地電気(草地明義)

上記により、現時点で来年度は、5事業所の脱退の予定となり、更に今後は年度毎の会員減少が危惧され、2018年12月の理事会で検討議論しましたが、その後5年が経過し、

会員の減少による組織運営変化やブロック組織の統合が現実になる時期がやってくると考えます。

再度、来年3月の理事会において、鈴木理事長の承認をいただき

今後の組合組織について議論したいと思います…(10年間で35事業所が脱退)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
会員数	130	127	125	116	114	110	106	104	101	100	95 (予定)

第3号議案:中間会計監査について(連絡)

10月27日(金)13:00から13:50まで、鈴木理事長の立ち会いによる監事2名による会計監査を実施しました。

指摘事項はありませんでした。

詳細はホームページに掲載済みですので、ご確認をお願い致します。

第4号議案:2023年度 上期実績・通期見通しの損益について(報告)

【別紙1】

- 組合→税引き前当期利益見通し…マイナス299万円(予算は9千円)……《詳細は別紙による》
今年度は利益がない見込みです…役員慰労金、脱退会員の出資金返却などによりマイナス230万円が影響
■下期は経費の徹底削減に努力して参ります。

組合は営利目的の組織ではないので、原則として繰越剰余金は組合員に還元すべきであるが
将来の会員減少予測、組合員の高齢化による廃業脱退にプール金として備えておく事とする。

また、新規会員の加入がほとんどない状況の打開策として定款を遵守した中で、重要議案の結論により
組合員で良かった、組合に入りたいとの声のでる魅力ある今後の施策に繰越剰余金を活用する。

第5号議案:ホームページ掲載情報発信…会員専用パスワード kaka でログイン(報告)

本日の理事会以外の内容はホームページに掲載しています。

会員の皆様に理事の方は適切に情報連絡をお願いします。

- 9月…13件数
- 10月…9件数

第6号議案:年末年始休暇について(連絡)

1月の理事会決定に従い、12月29日(金)~1月8日(月)まで休業日とします。

第7号議案:ボルテージへの「新年謹賀広告」掲載について(連絡)

県工組より、広告掲載の依頼が今年もある予定です。

例年どおり掲載したいのでご承認頂きたいと思います。

掲載月： 2024年1月号

広告代金： 15,000円(前年と同額)

第8号議案:全体忘年会の開催について(報告)

事業・福利厚生委員会決議により、実施予定をしていました全体忘年会は

諸般の事情を鑑みて、鈴木理事長の判断決定により、今年度も開催は中止と致します。

第9号議案:立入調査について …2024年1月10日(水)までに事務長へ提出をお願い致します(連絡)

▶現時点の立ち入り調査の実施完了者は鈴木理事長の1名です。

第10号議案:健康診断助成金の上期実績について(報告)

4月～9月(上期)の健康診断の実績報告を致します。

▶受診事業所…10事業所

▶受診人数…19人

▶支払い助成金額…260,120円でした…(組合とセンターで折半経費計上します)

■理事の方は会員の健康維持の為に、積極的に受診されるようにPRをお願い致します。

第11号議案:重要議案提出について(報告)

【別紙2】

【鈴木理事長からの提案がありました】

- ・「青年部会員増強に向けた実態調査アンケート」の結果について別紙の内容を、理事会において議論や意見交換を実施します。

<次回の理事会開催日>

2024年1月19日(金) 14:00～15:00 中部電力パワーグリッド(株)掛川営業所 5F会議室にて

上記のとおり議事の顛末を記録し、ホームページに掲載する。
出席理事全員が記名捺印後、原紙は事務長が保管する事とする。

2023年11月17日

議長理事 鈴木基文 ⑩

理事 阿形正好 ⑩

理事 榛葉一仁 ⑩

理事 鶴田昌伸 ⑩

理事 木村正勝 ⑩

理事 仲村文宏 ⑩

2023 年度

【第 4 回 理事会資料】

2023.11.17

掛川電気工業協同組合

2023年度 通期損益見通し

2023年10月31日

掛川電気工業協同組合

(単位：千円)



【収入の部】

科目名	2023年度					対予算	対予算
	予算	4~9月実績	10~3月見通し	通期見通し	対予算		
I 事業収入	463	28	155	183	-280	電気工事士講習会中止 26万	
II 賦課金等収入	5,640	4,060	1,580	5,640	0		
III 事業外収入	16,422	6,971	7,031	14,002	-2,420	予算を多めに入れた為	
収入合計(A)	22,525	11,059	8,765	19,825	-2,700		
事業費(B)	870	440	80	520	350	講習会中止(電気工事士、経営講習会等)+35万	
A-B	21,655	10,619	8,685	19,305	-2,350		

【支出の部】 (事業費は除く)

↓マイナス赤は予算をオーバーした金額

科目名	予算	4~9月実績	10~3月見通し	通期見通し	対予算	対予算
一般管理費						
1 人件費	15,858	8,280	7,649	15,929	-71	社会保険料増
2 業務費	4,108	3,118	1,564	4,682	-574	
新聞図書費	4	4	0	4	0	
旅費交通費	50	20	54	74	-24	
通信費	415	199	207	407	8	
会議費	725	768	187	955	-230	総会懇親会
消耗品費	29	13	14	28	1	
器具備品費	100	0	100	100	0	
事務用品費	75	14	66	80	-5	
印刷費	100	47	132	179	-79	
関係団体負担金	95	695	-600	95	0	
交際費	0	0	0	0	0	
健康診断費	400	130	250	380	20	
賃借料	54	7	47	54	0	
支払保険料	97	97	0	97	0	
水道光熱費	665	275	360	636	30	
修繕費	0	0	0	0	0	
減価償却費	549	272	278	550	-1	
雑費	750	577	468	1,045	-295	予算を少なめに入れた為
叙勲祝賀会関連費用	0	0	0	0	0	
知事褒賞祝賀会関連費用	0	0	0	0	0	
3 諸税負担金	1,355	332	1,023	1,355	0	
租税公課	1,355	332	1,023	1,355	0	
4 その他管理費	300	0	300	300	0	
修繕引当金繰入	300	0	300	300	0	
60周年記念費用繰入	0	0	0	0	0	
一般管理費計	21,621	11,730	10,536	22,266	-645	
事業外費用計	25	25	0	25	0	
特別利益	0	0	0	0	0	
修繕引当金戻入	0	0	0	0	0	
組合60周年記念費用戻入	0	0	0	0	0	
特別損失	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	0	0	
支出合計	22,525	11,059	8,765	19,825	2,700	
税引前当期利益	9	-1,136	-1,850	-2,986	-2,995	

青年部会委員増強に向けた実態調査アンケート報告書



○アンケート回収状況

会員数 561社

アンケート回収 197社

アンケート回収率 35% 197/559 (2社青年部の為全体数を559にしました)

①現在後継者または従業員が青年部に加入している

はい 47社

いいえ 149社

無回答 1社

② ①の質問でいいえと回答した方

各支部で定められている青年部の卒業年齢以下の後継者がいる

はい 21社

いいえ 127社

無回答 49社

③青年部の活動内容を把握している

はい 130社

いいえ 62社

無回答 5社

④青年部の活動に意見・ご質問がある

はい 9社

いいえ 184社

無回答 4社

⑥後継者以外の従業員を青年部に入会することについて

賛成 112社

反対 34社

条件次第 37社

無回答 14社

⑧青年部は今後も必要だとおもう

はい 146社

いいえ 38社

無回答 13社

⑤ ④の質問ではいと回答した方へ

どのようなご意見・ご質問がありますか？

- ・まず親会の方が存在が薄れて来ている様に思われます
高齢化する職人（特に建設業）になって来ています。
電工の知名度アップをする方法を考えて行った方が良いと思います。
たとえば電工でなくて電気技士の呼び名にするとか
- ・親会との協力のもと会員を増やしてほしい
組合にとっても、これから必要な人材を育てるいい組織になると思う
- ・各支部同士の交流はありますか？
- ・親会とどんな関係があったら良いと思えるか？
- ・現在青年部は人員不足と聞いていますが、上限何歳までが妥当だと思いますか？
- ・どのような活動をしていますか？
- ・Voltageで青年部会や女性部会の活動内容が写真と一緒に周知されているので
各支部の組合定例会などで理事の方々から、組合員の皆様へ書類配布だけではなく
積極的に口頭でもお知らせをして頂けると、青年部の活動に興味や感心をもって
頂けると思います。
(実施されてる方が多いとは思いますが、これからも引き続きお願いしたい。)
- ・電気工事業を皆で盛り上げようという意識と親会や理事のトップの皆様に今まで
以上に感心をもって真剣に取り組んでいただき、金銭面での援助や活動内容の理解
やご協力をお願いしたい。
青年部、女性部は積極的に電気工事業界の魅力をアピールし情報発信をしていき
活気づけていきたい。
各支部の組合員皆様に魅力が伝えていけたら、入会希望者が出てくるかもしれませ
んし、発展していけると思いますので、共に力を合わせてがんばりましょう。
- ・将来の業界がどうなるかなどの勉強をする会にしてほしい
- ・工業高校電気科などに電気工事業を知らしめる活動をしてもらいたい
- ・オリンピックの指導、競技参加をお願いしたい
- ・がんばって会員拡大してください

⑦ ⑥の質問で条件次第では賛成と回答した方へ

どのような条件であれば賛成でしょうか

- ・本人次第
- ・本人が入会したければ入会すれば良いと思います
- ・青年部の行事に積極的に参加できる方
- ・各ブロックからの助成金などで反対意見が出なければ
なかには渋る会員がいるかもしれないので問題なければ
- ・本人が独立の意思があり青年部の卒業年齢より10年ぐらい前に独立後
青年部を継続してくれるもの
- ・店主、従業員との同意書とか青年部会、組合の覚書があれば良いのでは
- ・後継者の活動できる職場環境が整えば
- ・将来、後継者となり得る人や独立して組合に加入する予定がある人
- ・賛成意見として

⑥ ⑦ のアンケートは良いと思う。従業員が何れ起業したい、すると考えている人もいると思うし、起業した時には、必ず横の繋がりが必要と考えますので、従業員加入者の入り口を広げていけばよいと思う。

それには、事業主の理解は必要になってくる

- ・例 兄が後継者、弟が入会
将来独立を考えている社員（独立後組合加入を強制にない条件で）
- ・将来独立した際、組合員となる。とか
- ・青年部活動中は就業時間内とするかの判断
労働時間が制限されている中で、従業員を就業時間として活動させるのは会社としては難しいが、課外活動、ボランティアとして参加したい従業員はいないのではないか
- ・入ってのメリットが有れば良い
- ・従業員数の多い会社、例えば10人以上いる会社とか、あればいいのではないか
- ・従業員であって、後継者に準ずる者であれば賛成である
- ・会議等出席出来る方
- ・青年部役員等出来る方
- ・事業回数を少なくする
- ・事業内容を意義のあるものとする
- ・法人役員
- ・責任ある対応のできる人
- ・後継者なし
- ・青年部の活動によって業務に支障がなければ
- ・活動内容が明確で組合の為になるなら賛成します
- ・一人単位で会費を納めて貰う（会社で）

- ・後継者ということにこだわらず、従業員を率先して青年部に入会して頂きたい
青年部や女性部の活動を親会や中央会の皆様に費用のご支援して頂き活性化させる
事で、若い世代から意識向上につながったり、電気工事業界が盛り上がると思いま
す。

組合会員への意識付けを理事の方々からお声掛けして頂き、青年部や女性部の皆様
はより魅力を伝えていけたら、会員増強に繋がるのではないかと思います。

性別、年齢問わず魅力的な業界を目指し、青年部と女性部が協力し合い業界全体を
盛り上げて行ける様、頑張ります！

- ・将来的に後継者の力になってくれるような人物であれば
- ・参加できる人がいるのであれば。
- ・若いメンバーが入る事は良いことと思う

掛川電気工業協同組合 青年部会委員増強に向けた実態調査アンケート報告書

○アンケート回収状況

掛川電気工業協同組合 会員数 100社

アンケート回収 55社

アンケート回収率 56% 55/99 (1社青年部の為全体数を99にしました)

①現在後継者または従業員が青年部に加入している

はい 7社

いいえ 48社

② ①の質問でいいえと回答した方

各支部で定められている青年部の卒業年齢以下の後継者がいる

はい 4社

いいえ 46社

無回答 5社

③青年部の活動内容を把握している

はい 42社

いいえ 12社

無回答 1社

④青年部の活動に意見・ご質問がある

はい 2社

いいえ 53社

無回答 0社

⑥後継者以外の従業員を青年部に入会することについて

賛成 28社

反対 8社

条件次第 18社

無回答 1社

⑧青年部は今後も必要だとおもう

はい 43社

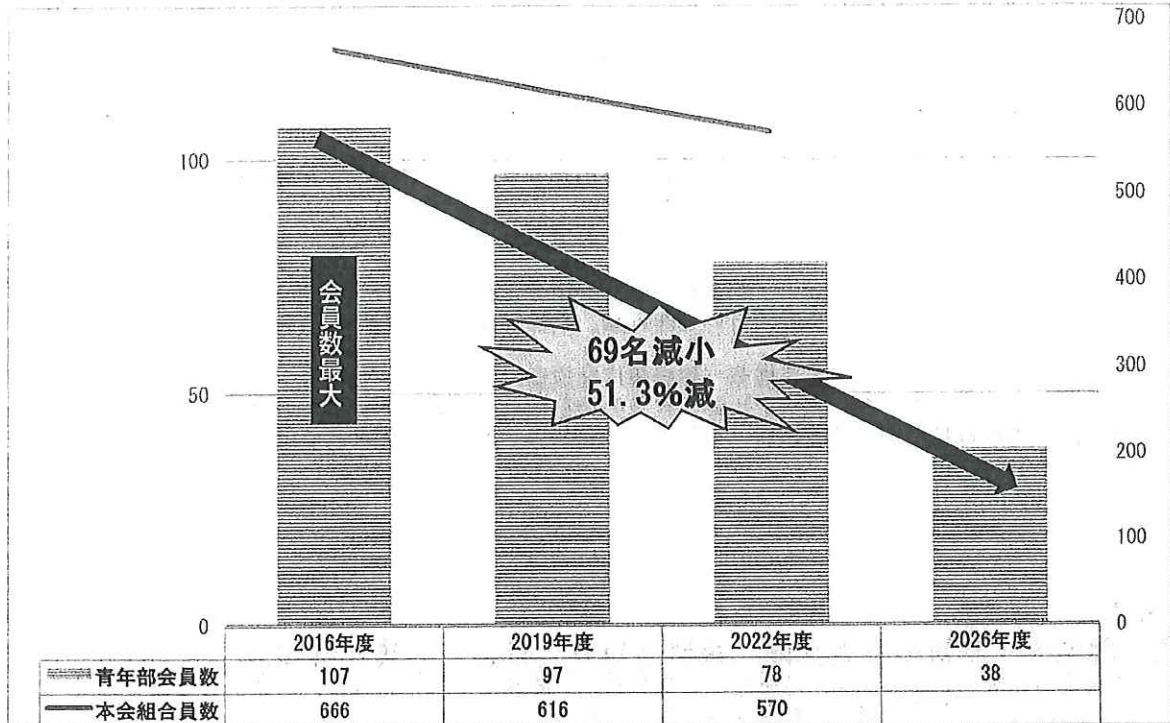
いいえ 11社

無回答 1社

静岡県電気組青年部 会員増強に向けた対策の検討

2022.10.1青年部理事会対策会議資料

1. 青年部会員数の推移・今後の見込み



	2016年度	2019年度	2022年度	2026年度
青年部会員数	107	97	78	38
減少人数		▲ 10		▲ 69
減少率		-9.3%	-27.1%	-51.3%
本会組員数	666	616	570	
加入率	16.1%	15.7%	13.7%	

2. 青年部会員増強に関わる現在までの対策について（現状の対策状況分析）

対策内容	効果・課題
各支部で親会への声掛け	声掛けだけではなかなか入会までは繋がっていない

3. 青年部会員増強に向けた今後の対策（案） （今後の対策・施策案）

施策案1

親会との情報交換・連携強化 親会への協力依頼

- ① 親会に加盟している会社の従業員情報などを共有して会員拡大できる人材はいないかを確認する。（声掛けをすると共に会社内の情報を教えてもらい会員拡大できるメンバーを探していく）
 - ② どのような活動をして行く事で魅力ある青年部が実現するかなどアドバイスをもらう。（アドバイスをもらう事で、親会と共に活動することが出来、親会自体にもPRすることが出来る）
 - ③ 各会社で青年部対象者の確認をお願いする。（アンケートの実施 後継者・若手社員のリーダー候補・青年部のイメージ等）
- 効果として青年部の存在を知りきっかけになる
- ④ 親会に後継者（青年部対象者）にあたる組合員の調査を行い、最新の青年部名簿を作成し、青年部で把握をする。毎年同じ調査を行い、常に最新の名簿を作成する。
 - ⑤ 青年部と親会の交流を行う。（親会の協力が不可避となる為、後継者がいる親会組合員と交流を深めていく）
 - ⑥ 県工組の三役、青年部会の会長・副会長、女性部会の会長・副会長で定期的に意見交換会をして活動内容等、現況報告をこまめに行い青年部会、女性部会の活動内容を親会に知ってもらう。
 - ⑥ 親が後継者を青年部に紹介する機会（総会後に交流会）等を開催する。
 - ⑦ 各支部へ45歳以下（50歳以下）の会社員のいる会社（組合加入会社）の実態調査をする。各支部で現状青年部加入可能絶対数を調べることで県全体で何%の加入状況で、今後の加入見込みも計算だけは出来る。

施策案2

青年部加入1年目の会費免除 後継者以外（社員）の青年部加入

- ① 年会費の免除（お試し期間）活動費は支部負担。（親会からの補助など）効果として青年部加入のハードルが下がる。現役の先輩会員としての意識が芽生える。
- ② 組合未加入の事業所でも青年部には入会できる。（参与会員として）効果として青年部でうまくいけば、組合にも加入してくれるかも。
- ③ 1年目は会費をもらわないようにする。（各支部で負担する）
- ④ 親会からも積極的に青年部に人を送ってもらう為に青年部に属している社員さんがいる会社は、組合費も少し減額する。
- ⑤ 呑み会費等は、1年目の1回目は無料、2回目は半額、2年目以降は通常会員と同等の費用にする。1年目でも呑み会の2次会等は全額個人負担にする。
- ⑥ 青年部加入会社の組合費を通常の2/3組合費にする。その場合は青年部加入者の1年目の会費免除のみで、呑み会費等は個人負担とする。
- ⑦ 現状を考えると従業員の参加要請は必ず必要となる。青年部会員でなくとも、勉強会や忘年会、納涼会などのイベントに参加してもらい、青年部活動を確認してもらう。
- ⑧ 従業員の参加の場合に年会費などの費用について、可能であれば親会の方に組合費の一部負担や青年部に従業員を参加させてもらえるのであれば、親会組合費の減額などをしてもらう事ができるかの確認。理事会などでの話し合いになるので、時間は要すると思われるが、議題に取り上げてもらえるかを確認する。
- ⑨ 組合会員、後継者だけではなく参加資格を社員も可能とする。親会理事、青年部OBに協力を要請して従業員を紹介してもらう。
- ⑩ 支部規約（静岡支部）では組合非会員の参入も可能である事から、電材屋などにも青年部の関係強化などで青年部に参加可能か打診をする。青年部で単独で動くことは出来ないの、親会などに相談のうえで行動とする。
- ⑪ 従業員を青年部に入れるにあたり、規約などを決めておく例えば支部長などをやらせることには抵抗があるとの意見もあるので、A（後継者）B（従業員）会員のように内部的にわかるように区分けをしておく。B会員には基本的に役員をさせないなどの話をしておく事により、従業員の参加をさせやすくする。
- ⑫ こちらの要望だけではなく、従業員を青年部に参加してもらえる場合に青年部としても社長さんたちの希望、要望（年会費、会員区分けなど）可能かどうかを議題として青年部での意見をまとめて理事会の方へ上程して、議題として取り上げてもらえるか確認してもらう。

施策案3

チラシ・パンフレットの作成 現青年部の内部増強・PR

- ① 県青年部の事業としてチラシ・パンフレットの作成。パンフレットは予算等もある為、親会に相談。チラシは通年通して配れるようなチラシ作りをする。(作成費削減の為)作ったチラシは各支部組合に掲載・ストックとして置いて頂く。速効性のあるチラシを優先、パンフレットは中期的に作成する。
- ② 魅力的な活動の立案、実施を積極的に行い、青年部としての魅力アップを図る。
- ③ 後継者不足、職人不足なので電気工事士に魅力を感じてもらおう。(後継者不足、人材不足なのでまずはそこから改善していくためにも、若い世代の人達に電気工事士の魅力を伝えて就職して貰おう)
- ④ 地域のイベントに参加していく。(電気工事士がどんなことができるのか、生活する中でどのように必要になっていくかPRしていく。そこで、チラシなどを作成して電気工事士がどのような仕事ができるかPR)
- ⑤ 電気工事業界に興味を持ってもらい、組合の内容を明確にしてメリットを作り出すことが必要。
- ⑥ 県の役員会で青年部会でのSNSを作り、活動内容などを目にしてもらおう事で、青年部に興味を持ってもらおう。(SNS作成に関しては講習会に参加希望者に出席してもらい、どのようなものを作るかを検討する)
- ⑦ 工業高校(電気科)その他希望があれば普通科へ出前授業を行い、電気工事士について知ってもらい、電気工事業界への興味を持ってもらおう。

施策案4

親会での会員増強対策

- ① 非組合員さんへ、青年部、女性部を含めた組合の在り方、組合の良さ、今後の組合の展望を含めた説明会。人数を多く説明会を開くと浸透性に欠けてしまう恐れがあるので、まずは各支部の親会理事長や役員、引込センターを含めても良いと思いますが、そのあたり的人数で説明会か意見交換会を実施する。支部の垣根を越えての交流も図れるのではないかと。そこからトップダウンで各組合の各親会会員、青年部会員にも浸透させる。

施策案5